

科目名	声優演技 I							年度	2025
英語科目名	Voice Acting I							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	105	単位数	3	種別※	実技
担当教員	小形 満		教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 声優の仕事に必要な基礎的な発声・発音を身に付ける CDドラマ、アニメ、外画の表現の違いを知り、演じる事ができるようになる。 映像、画像に合わせ作品と一体化させる技術を身に付ける。									
【科目の概要】 表面的ではない本物の声優の表現力を学ぶ									
【到達目標】 A. 発音・活舌 B. 台本の読解力と演技 C. アテレコの基本的技術の習得 D. アテレコの演技力 E. アテレコの演技力の向上									
【授業の注意点】 挨拶、コミュニケーション、キャスティング、マイクワーク、プレイバックの分析。いずれにおいても自主的、積極的な姿勢を求める。授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	声のコントロールが出来、滑舌も素晴らしい	楽に声を張れる、言葉も明瞭	大きな声が出せるが言葉がながれることがある	大きな声が出ず台詞もよく聞き取れない	大きな声が出ず台詞もよく聞き取れない				
到達目標 B	台詞の裏の心情も表現できる	台本を正しく理解しキャラクターにも合っている	台詞を表情に合わせていうことができる	シチュエーションもキャラクターも理解していない	シチュエーションもキャラクターも理解していない				
到達目標 C	共演者のブレス、マイクワーク等アドバイス出来る余裕がある	演技に合わせてマイクワークが出来る	器材の使い方にも慣れマイクの距離も適正	いつもブレスが合わずマイクの距離も注意される	いつもブレスが合わずマイクの距離も注意される				
到達目標 D	自分の個性を活かし思い切った演技が出来る。	原音に囚われず自分の表現が出来る	ブレスも合っていてキャラクターも違和感がない	マイクの前に立つと自分の演技が全く出来ない	マイクの前に立つと自分の演技が全く出来ない				
到達目標 E	のびのび自由な演技が出来、ダメ出しの対応力も十分	シチュエーションやキャラクターを理解した演技が出来る	相手との台詞のキャッチボールが出来る	台詞をただ読んでいるだけ	台詞をただ読んでいるだけ				
【教科書】									

主に外画、アニメ、朗読などのテキスト。レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		声優演技 I			年度	2025
英語表記		Voice Acting I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	発声1	表現に必要な声量が出る	挨拶	元気な挨拶ができる		
			声を出す	大きな声が出せる		
			ロングトーン	長く息が続く		
2	発声2	自然な発声ができる	リラックス	喉のリラックス		
			腹式呼吸	腹式呼吸ができる		
			自分の声	自分の一番出しやすい声を知る		
3	滑舌	明瞭な滑舌	口を開ける	口を縦に開け明るい音を出せる		
			アクセント	アクセント、訛りのチェック		
			苦手な言葉	自分の苦手を克服		
4	アテレコの知識の基本	基本的な知識の理解	プレスチェック	プレスをチェックできる		
			アテレコ用語	アテレコ用語を理解する		
			画に合わせる	画面を見ながら台詞を言える		
5	マイクワーク	スムーズなマイクワークができる	マイクの立ち方	マイクの立ち方を覚える		
			器材の使い方	器材の使い方を覚える		
			マイクワーク	マイクワークを覚える		
6	演技の理解1	台本の理解	台本の読み方	アテレコ台本の読み方を覚える		
			読解力	台本の読解力を身につける		
			届く台詞	相手に届く台詞が言える		
7	演技の理解2	表現力の向上4	台詞のキャッチボール	台詞のキャッチボールを考える		
			台詞の影響	相手に影響を与える台詞を考える		
			台詞の受け取り	相手の台詞を受け取れる		
8	アテレコの演技1	アテレコのテンションを覚える	テンション	アテレコのテンションを覚える		
			距離感	距離感を身につける		
			台詞の方向	台詞がどの方向に向いているのか		
9	アテレコの演技2	シーンの雰囲気と空間をつかまえる	シーンの雰囲気	そのシーンの雰囲気を理解する		
			空間の理解	その空間の広さや時間を理解する		
			感情の流れ	台詞を言う前に感情の流れを作る		
10	アテレコの演技3	台詞の技術	キャラクター	キャラクターの特徴をつかむ		
			台詞のメリハリ	台詞のメリハリを考える		
			自己分析	プレイバックで自己分析できる		
11	自分の演技	自分の演技の長所を知る	自分の演技	自分の演じやすいキャラクターを知る		
			評価のギャップ	演技プランと評価のギャップを埋める		
			解放	のびのび演じられているか		
12	表現力の向上1	自分らしい演技	自分らしさ	自分らしい演技を考えてみる		
			得意不得意	得意または不得意なキャラクターを知る		

			苦手の克服	苦手の理由を考える		
13	表現力の向上2	様々な演技	表面的な表現	表面的でない表現力を身につける		
			魅力的な演技	魅力的な演技を分析してみる		
			デフォルメの演技	デフォルメした演技も出来るようになる		
14	表現力の向上3	魅力的な演技	リアルな表現	リアルな表現を身につける		
			ナチュラルな演技	ナチュラルな演技を身につける		
			相手の台詞を聞く	相手の芝居を受けることができる		
15	表現力の向上4	自由な演技	アドリブ	的確なアドリブが入られるようになる		
			身体を使う	身体を使った台詞が言えるようになる		
			長台詞	長台詞が言えるようになる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						